学生の確保の見通し等を記載した書類

目　　次

１．新設組織の概要 2
（１）新設組織の概要 2
（２）新設組織の特色 2

２．新設組織の定員設定の理由 2

３．学生確保の見通し 3
（１）学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果 3
（２）競合校の状況分析 4
（３）学生給付金等の金額設定の理由 4
（４）学生確保に関するアンケート調査 5

４．人材需要の社会的な動向等 6

１．新設組織の概要

（１）新設組織の概要

新設組織			入学定員	収容定員	所在地
大学院 医学系研究科	専門職 学位課程	医療経営管理学専攻	10	20	兵庫県神戸市中央区楠町７丁目 5-1

（２）新設組織の特色

少子高齢化や働き方改革等の課題に直面している状況は医療においても例外ではなく，むしろ国民生活への影響は深刻である。そのため，昨今は”医療の効率化や変革”といった医療分野における経営管理のあり方が，持続可能な医療を実現するための新たな社会的ニーズとなっている。これは，従来の医学的専門性の向上を主眼とするリカレント教育とは大きく異なる。そこで医療における経営と情報の統合的利活用による戦略を策定し，**データに基づく医療機関の管理，医療経営，地域医療の変革を主導する人材を養成**するため，令和８年度に開設予定の大学院医科学系研究科に医療経営管理学専攻（以下「本専攻」という。）（医療経営管理学修士）を設置する。

この専攻の特色は，医療分野の課題解決に必要な専門知識（経営・人材管理・病院管理・情報管理・危機管理・医療政策・関連法規）と実践的技術（データ収集・分析，全体最適化プランニング，プロジェクトマネジメント等）の修得であり，大学院修了後に**自律・自立的に最新知識への更新が持続可能となる情報管理能力まで付与**する。

この専門人材養成では，平成 29 年度文部科学省大学教育再生戦略推進費「課題解決型高度医療人材養成プログラム」において採択された「実践的病院経営マネジメント人材養成プラン（M×M KOBE)」事業で培った人材と教育資源の活用により教育内容の再編と高度化を実現し，加えて実践性の担保のためデータ駆動型の実務経験が豊富な講師を民間企業からも招聘する。

本専攻では，必要に応じてリモート講義によるハイブリッド型での人材教育を行い，社会人学生が時間と場所に捉われず柔軟に学修機会が得られるよう配慮する。ハイブリッド型講義のプラットフォームは，実践的病院経営マネジメント人材養成プランで既に確立され運用している。

２．新設組織の定員設定の理由

理論と実務を架橋する実践的な教育を実施する専門職大学院の制度趣旨に鑑み，本専攻においても実践的な教育として，講義による知識伝達と演習による実践力養成を組み合わせ，さらに課題解決型特別研究を通じて現場適用能力を涵養する三層構造としている。特に，課題解決型特別研究では，学生自身が所属機関や地域社会の実際の課題をテーマとして設定し，調査・分析・戦略立案・成果発表まで一貫して行う等，個々の学生の課題認識に即したきめ細かな指導が必要となることから，入学定員については，実践的な教育を効果的に行うために適切と考えられる 10 人に設定した。

なお，入学定員の検討にあたっては，先述の「実践的病院経営マネジメント人材養成プラン

（M×M KOBE)」のこれまでの受講者数の実績（2018 年～2025 年度のコース制の受講者数平均 11.6 人/年）や医療経営を扱う他の専門職大学院の入学定員（藤田医科大学大学院医学研究科病院経営学・管理学専攻 10 人）も参考とした。

後述の学生確保に関するアンケート調査結果からも，十分定員充足が可能と見込まれる設定となっている。

３．学生確保の見通し

（１）学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

ⅰ）社会人学生の確保

本専攻の主な入学対象者として想定するのは，主に大学を卒業した医師，医師以外の医療職（看護師，コメディカル)，事務職である。短大卒・専門学校卒の者等については，出願前に「個別の入学資格審査」により大学を卒業した者と同等以上の学力があるか審査を行う。社会人学生の修学に関わる負担を軽減するための取組として，大学院設置基準第 14 条に基づく教育方法の特例を適用し，仕事と大学院の両立が可能となるよう，平日の夜間及び休日（土曜日）に授業を開講するとともに，対面に加えて遠隔講義も行い，社会人学生が時間と場所に捉われず柔軟に学修機会が得られるよう配慮する。

本学では，各キャンパスの教室や附属図書館に無線 LAN を整備するとともに，教員及び学生の両者に，学修支援システム（BEEF+：ビーフプラス）及び Microsoft365 の個人アカウントを配付しているため，教員も学生も学内外を問わず，オンライン授業やオンデマンド授業の実施・参加が可能である。加えて，本専攻の基盤となった「実践的病院経営マネジメント人材養成プラン（M×M KOBE)」において遠隔講義のプラットフォームを確立・運用しているため，本専攻においても多様な教育形態を展開することが可能である。

こういった本専攻の特長について，ホームページ等を通じて積極的に広報を行い，学生の確保に努める。

また，本学附属病院職員への広報はもとより，本学の関連病院（兵庫県・大阪府・京都府内に 95 医療機関）への広報のほか，本学主催で年１回開催している地域医療機関との連携強化を目的とした地域連携交流会等，医療機関関係者が集まる機会を捉えて，積極的な広報を行い，学生の確保に努める。

ⅱ）学生への経済的支援

専門職大学院の学生が利用できる奨学金制度としては，日本学生支援機構による貸与奨学金（第一種・第二種）がある。無利子の第一種の場合，貸与月額は５万円と８万８千円からの選択となる。また，学資負担者の家計急変によって修学を継続することが経済的に困難となった学生に対しては，神戸大学独自の奨学金制度を設けており，一時金として 25 万円を給付することによる学費・生活費の援助を行う。

なお，社会人学生については，厚生労働省教育訓練給付制度の「専門実践教育訓練講座」の指定申請も視野に入れている。同制度の適用により，支給要件を満たした場合，最大で受講費用の

80%（年間上限 64 万円）が給付される。

（２）競合校の状況分析

本専攻と同様に，医療経営を扱う専門職大学院は，九州大学大学院医学系学府医療経営・管理学専攻及び藤田医科大学大学院医学研究科病院経営学・管理学専攻である。

過去５年間（藤田医科大学は令和５年度設置のため３年間）の入学志願状況等は以下に示すとおりである。九州大学は令和７年度以外，藤田医科大学は全ての年度で入学定員を大きく上回る志願者数を確保している。また，入学定員充足率については，九州大学は過去５年間の平均で97%，藤田医科大学は毎年度 100%を超えていることから，本専攻における定員充足も問題ないものと考える。

九州大学大学院医学系学府医療経営・管理学専攻

区分	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	５年平均
入学定員	20	20	20	20	20	20
志願者数	29	25	34	32	19	27.8
入学者数	18	18	22	24	15	19.4
入学定員充足率	0.90	0.90	1.10	1.20	0.75	0.97

出典：大学改革支援・学位授与機構ホームページ　大学基本情報
https://portal.niad.ac.jp/ptrt/table.html

藤田医科大学大学院医学研究科病院経営学・管理学専攻

区分	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	3 年平均
入学定員	10	10	10	10
志願者数	42	14	19	25
入学者数	16	14	19	16.3
入学定員充足率	1.60	1.40	1.90	1.63

出典：藤田医科大学ホームページ　志願者・合格者・入学者数の推移（大学院）
https://www.fujita-hu.ac.jp/about/j93sdv0000006qwc-att/j93sdv0000006rxp.pdf

（３）学生納付金等の金額設定の理由

授業料，入学料及び検定料は，「国立大学等の授業料その他の費用に関する省令（平成十六年文部科学省令第十六号)」に定められた標準額とする。

授業料の年額　535,800 円
入学料　282,000 円
検定料　30,000 円

なお，標準修業年限の１年６月で修了した場合にかかる学費の総額は，1,115,700 円となる。

（４）学生確保に関するアンケート調査

本専攻における学生確保の見通しを把握するため，異なる対象にてアンケートを実施した。

１つ目は，近畿圏内（通学圏内）に所在し，かつ 200 床以上の規模の医療機関に勤務する医療従事者，並びに保健所・保健センター等の行政機関に勤務する職員を対象に，入学意向を問う個人向けアンケートを実施し，176 人から回答を得た。なお，本専攻は社会人を対象とする専門職大学院であるため，たとえ入学意向を示す回答者数が定員（10 人）を上回ったとしても，所属機関の理解を得られず進学を断念する可能性がある。そこで，個人向けアンケートに加えて，「職員が本専攻に進学を希望する場合，進学の機会を与えるか」といった設問を含む機関向けアンケートを並行して実施し，機関責任者の 45 人から回答を得た。【資料１】

また，経営系の専門職大学院では企業の推薦枠や派遣枠を活用し，学費支援制度の下で社員が進学する事例が一般的である。この点を踏まえ，機関向けアンケートには「研究支援制度（研修費用の負担等）の有無」を確認する設問も設けた。最終的な分析においては，「研修支援制度の有無」と「進学を希望する職員に対する進学機会の意向」をクロス集計し，個人向けアンケートを補完する参考データとする。

個人向けアンケートの結果，「神戸大学大学院医学系研究科医療デジタル経営管理学専攻（仮称）が開設された場合，自身が入学したいと思いますか」という質問に対し，「はい，入学したいと思う」と回答した者は 44 人（全体の 25%）であり，想定する入学定員の約４倍に相当する人数が本専攻への入学を希望するものであった。そのうち，32 人が大学卒以上であり，この場合においても，想定する入学定員（10 人）の 3.2 倍に相当する。

また，機関向けアンケートにおいて「貴院・貴施設の職員が神戸大学大学院医学系研究科医療デジタル経営管理学専攻（仮称）への進学を希望した場合，進学の機会を与えたいと思いますか」という質問に対し，32 人（全体の 71%）が「はい，進学の機会を与えたいと思う」と回答した。そのうち 23 人（全体の 51%）は「研修支援制度を有している」と回答している。

上記の 32 人に「貴院・貴施設の職員を，何人入学させたいと思いますか」と質問したところ，「１人」が 21 人，「２人」が７人，「３人」が１人，「５人以上」が３人で，これらを合計すると 53 人となった。このうち，「研修支援制度を有している」と回答した 23 人に限定すると，「１人」が 13 人，「２人」が５人，「５人以上」が３人で，これらを合計すると 38 人であった。

以上の結果を踏まえると，本専攻が設定する 10 人の定員は十分確保できる見込みであることが確認できた。

なお，機関向けアンケートにおいて，「貴院・貴施設の職員が神戸大学大学院医学系研究科医療デジタル経営管理学専攻（仮称）への進学を希望した場合，進学の機会を与えたいと思いますか」という質問に対し，「わからない」と回答した 13 人に，「神戸大学大学院医学系研究科医療デジタル経営管理学専攻（仮称）の修了生を，貴院・貴施設の職員として採用したいと思いますか」と質問したところ，７人が「はい，採用したいと思う」と回答し，「いいえ」と回答したのは０人であった（「わからない」が６人）。

上記の７人に「採用する場合，単年度で採用する人数をご選択ください」と質問したところ，

「２人」が２人，「１人」が５人で，合計すると９人であった。

本専攻は医療機関で勤務している医師，メディカルスタッフ，事務職員等を主な入学対象としており，修了後も引き続き当該機関で勤務することが想定されるため，先述の「貴院・貴施設の職員を，何人入学させたいと思いますか」に対する回答の人数が修了生の社会ニーズも示すものと考えられる。加えて，自院の職員に進学の機会を与えるかわからないと回答した医療機関においても，本専攻の修了生を採用したいという回答が得られていることからも，本専攻の修了生の社会ニーズは十分にあることが確認できた。

２つ目は，中長期的に学生確保が十分に見込めるかを確認するため，近畿圏内（通学圏内）に所在する医療機関の長及び保健所・保健センター等の医療保健担当部署の長を対象に機関向けアンケート，神戸大学大学院医学系研究科及び保健学研究科の前期課程の学生を対象に個人向けアンケートを実施した。【資料２】

機関向けアンケートの結果は，21 機関の 21 人から回答があった。「職員を進学させたいと思いますか」という質問に対して，「とても思う」と回答した者は 17 機関(81%)，「ある程度思う」と回答した者は４機関(19%)であり，回答のあったいずれの機関においても，意欲的な回答が得られた。そして，その進学頻度としては，「継続的に，毎年，１名を進学させたい」と回答した者が５機関(23.8%)，「継続的に，毎年，複数名を進学させたい」と回答した者が９機関(42.9%)，「継続的に，３年から５年ごとに，１名を進学させたい」と回答した者が５機関(23.8%)，「継続的に，３年から５年ごとに，複数名を進学させたい」と回答した者が２機関(9.5%)であった。毎年・１名が５機関，毎年・複数名が９機関あることから，複数名を仮に２名として考えた場合，５機関×１名＋９機関×２名＝23 名について，毎年志願者が見込まれる。これに加え，３年から５年ごとの進学を考えている機関も７機関あることから，中長期的に継続して毎年 23 名程度の志願者が確保される見通しがあると言える。

一方，個人向けアンケートの結果，48 人から回答があった。「将来のキャリアとして，管理職となり，病院の運営・経営や地域医療行政に携わることをイメージして，この専門職大学院に入学したいと思いますか」という質問に対して，「はい，入学したいと思う」と回答した者は２人(4.2%)，「今は具体的に考えていないが，５年後や 10 年後には入学について検討したいと思う 」と回答した者は 23 人(47.9%)である。入学意向を示した者または将来的に入学を検討すると回答した者が 25 人であり，そのうち大学卒以上が 24 人である。このように，現在医療系の大学院に所属する学生の間でも，将来的な進路として本専攻への興味・関心があることが伺え，中長的な学生の確保が期待できる。

４．人材需要の社会的な動向等

急速な少子高齢化の進展や医療の高度化・デジタル化といった社会環境の激変に伴い，持続可能かつ質の高い医療提供体制の確立が喫緊の課題となっており，その解決を牽引する高度な医療経営人材の需要が社会的に高まっている。医療業界は，働き方改革や医療の高度化による医療コストの増加，高齢者増による疾病構造の変化，そして地方で先行する医療崩壊の危機に直面している。さらに，生産年齢人口の減少は，医師，看護師，薬剤師をはじめとする診療スタッフのみ

ならず，事務職員を含む医療人材全体の枯渇を招いている。また，従来の医療者教育は医学的専門性の向上に特化し，俯瞰的な視点の欠如や局所最適化につながる硬直性が指摘されており，これらの課題を克服するためには，「医療の効率化や変革」といった医療分野における経営管理のあり方が新たな社会的ニーズとなっている。具体的には，データ駆動的かつ垂直統合的な理解に基づき，医療のマネジメント，デジタル化を推進し，持続可能性の向上を全体最適化により実現するインテリジェンススキルを有した人材の育成が求められている。

このような社会的背景を踏まえ，国や職能団体から以下のような提言がなされている。

公益社団法人日本病院会の「国民に適切な病院医療を安定的に提供するための提言 2025（2025年３月）」においては，「入院医療を提供する病院の経営状況は，医業収益を上回る医業費用の増加が年々加速し，経営の継続が困難な状況に直面」していることや「病院経営の安定化が不可欠」であることを指摘している。

また，文部科学省の「今後の医学教育の在り方に関する検討会 第三次取りまとめ（2025（令和７）年７月）」においては，課題として「教育・研究・診療それぞれの観点で，幅広く診療科を具備する必要がある中で，持続可能な病院経営（大学病院における働き方改革の着実な推進を含む。）を実現することが必要となっている」ことが述べられ，その対応方策として，「病院長を含む幹部職員（医師だけでなく看護師や事務職員等も含む。）やその候補者の他，大学本部で法人全体の経営等に関わる幹部職員が病院経営に必要な知識を身に付けるとともに，実務に当たる事務職員等の計画的な人材養成に努める。」ことが提言されている。

さらに，「経済財政運営と改革の基本方針 2025（令和７年６月閣議決定）においては，「国民生活に密着し社会・経済的な重要性が高い分野（教育，子育て，医療，介護，モビリティ，インフラ，防災等）について，利用者起点で規制・制度の見直しやデジタル活用を進める」ことや「医療ＤＸを通じた効率的で質の高い医療の実現」，「医療・介護ＤＸやＩＣＴ，介護テクノロジー，ロボット・デジタルの実装やデータの二次利用の促進，（中略），医療・介護・障害福祉分野の生産性向上・省力化を実現し，職員の負担軽減や資質向上につなげる」こと等が提言されている。

これらの動向から，医療経営と情報戦略統合管理の知識・能力を兼ね備えた専門職人材を養成することは，国の進める医療政策を地域で実現し，医療提供体制を持続可能とするために不可欠である。

学生の確保の見通し等を記載した書類　資料

目　　次

資料１　神戸大学大学院医学系研究科医療デジタル経営管理学専攻（仮称）
医療系専門職大学院設置に係るアンケート調査結果報告書　. 2

資料２　神戸大学大学院医学系研究科医療経営管理学専攻（仮称）
医療系専門職大学院設置に係るアンケート調査結果報告書　. 45

神戸大学大学院

医学系研究科　医療デジタル経営管理学専攻（仮称）

専門職学位課程

医療系専門職大学院設置に係るアンケート調査結果報告書

令和 7 年 12 月 16 日

株式会社高等教育総合研究所

目次

調査結果サマリー.....1
「個人向けアンケート」.....2
「機関向けアンケート」.....2
第Ⅰ章 調査概要.....3
回答者の属性.....4
本報告書に記載のデータに関する注意点.....6
第Ⅱ章 調査結果.....7
「個人向けアンケート（入学意向)」.....7
「機関向けアンケート（職員の進学機会に対する機関責任者の意向)」.....9
第Ⅲ章 調査概要（単純集計表）.....11
「個人向けアンケート」.....11
「機関向けアンケート」.....14
添付資料.....19
概要説明リーフレット.....19
アンケート調査票.....21

▶▶調査結果サマリー

以下の結果は、「神戸大学大学院医学系研究科医療デジタル経営管理学専攻（仮称）」（以下、当該専攻）への入学が期待される、200 床以上の医療機関に従事する医療従事者 164 名、ならびに保健所・保健センター等の行政機関に勤務する職員 12 名の計 176 名からの回答に基づくものである。

なお、個人を対象としたアンケートに加え、職員が進学を希望した場合の機関としての対応方針や許可に関する考え方の傾向を把握するため、病院長等の責任者を対象とした機関向けアンケートも併せて実施した。

また、本調査は回答者の率直な意見を把握することを目的として匿名で実施しており、個人向けアンケートと機関向けアンケートは同一機関内での回答を対応付ける設計とはしていない。そのため、本報告書では、機関責任者向けアンケートの結果を、個人向けアンケートの結果を補完するための参考値として整理している。

▶調査の主旨

当該専攻における学生確保の見通しを把握するため、近畿圏内（通学圏内）に所在し、かつ 200 床以上の医療機関に勤務する医療従事者ならびに兵庫県・神戸市の行政機関（保健所・保健センター等）に勤務する職員を対象に、入学意向を問う個人向けアンケートを実施した。ただし、当該専攻は社会人を対象とする専門職大学院であるため、たとえ入学意向を示す回答者数が定員（10 名）を上回ったとしても、所属機関の理解を得られず進学を断念する可能性がある。そこで、個人向けアンケートに加えて、「職員が当該専攻に進学を希望する場合、進学の機会を与えるか」といった設問を含む機関の責任者を対象としたアンケートも並行して実施した。

また、経営系の専門職大学院では企業の推薦枠や派遣枠を活用し、学費支援制度の下で社員が進学する事例が一般的である。この点を踏まえ、機関向けアンケートには「研修支援制度（研修費用の負担等）の有無」を確認する設問も設置した。最終的な分析においては、機関向けアンケートにおいて、「研修支援制度の有無」と「進学を希望する職員に対する進学機会の意向」をクロス集計し、個人向けアンケートの結果を補完する参考データとして整理した。

【個人向けアンケート】

▶入学意向を示した者は 44 名で、入学定員（10 名）の約 4 倍に相当

176 名の回答者のうち、入学意向を問う設問（Ｑ８）で「はい、入学したいと思う」と回答した者は 44 名（全体の 25.0%）であった。また、内訳としては医療機関の職員が 41 名、行政機関の職員 3 名が入学意向を示した。

【機関向けアンケート】

▶約7割の機関責任者が「職員に進学の機会を与える」と回答

機関の責任者 45 名のうち医療機関の責任者 29 名、ならびに行政機関の責任者 3 名の計 32 名（全体の 71.1%）がＱ６で「職員が進学を希望した場合、進学の機会を与える」と回答した。そのうち 23 名（医療機関：21 名、行政機関：2 名）はＱ５で「研修支援制度を有している」と回答した。

▶進学希望の職員に進学機会を与えると回答し、研修支援制度を有する機関の責任者 23 名が回答した「職員の入学者数」の合計は 41 名であった。

「研修支援制度」を有し、かつ「進学希望の職員に進学機会を与える」と回答した機関の責任者 23 名に対し、「職員を何人入学させたいと思うか」（Ｑ10）と質問した結果、当該責任者が回答した職員の入学者数の合計は 41 名（医療機関：38 名、行政機関：3 名）であった。

以上の結果から、入学が想定される層において、当該専攻に対する潜在的な需要は入学定員 10 名を充足し得る水準にあることが確認された。また、機関責任者の職員の進学に対する意向についても、研修支援制度の有無といった制度的制約を考慮した場合においてなお、一定数の機関が、職員の進学に前向きな姿勢を示していることが明らかとなった。

第Ⅰ章 調査概要

調査の目的

本調査は、神戸大学が令和 9 年 4 月に設置を構想している神戸大学大学院医学系研究科「医療デジタル経営管理学専攻　専門職学位課程（仮称）」における学生確保の見通しを把握することを目的として、第三者機関によりアンケート調査を実施したものである。

調査対象

「医療デジタル経営管理学専攻　専門職学位課程（仮称）」への入学が想定される、近畿圏内に所在する医療機関および兵庫県・神戸市に所在する行政機関に勤務する職員ならびに機関の責任者を対象とした。（※医療機関：323 件、行政機関：3 件）

調査期間

令和 7 年 9 月 8 日～令和 7 年 12 月 3 日（配布・回収期間）

回収状況

有効回収数 45 件（※機関向けアンケート）　有効回収率 13.8%
※本調査は、機関を通じて個人に配布する形式で実施しており、個人向けアンケートについては事前に配布数（母数）を特定できない設計であったため、有効回収率は、依頼した機関数に対する機関向けアンケートの回収数を基に算出している。

調査項目

►個人向けアンケート

質問項目は全 9 問とし、主な項目は以下のとおりである。

・回答者の基本情報
・回答者が所属する機関の基本情報
・当該専攻への入学意向

▶機関向けアンケート

質問項目は全 11 問とし、主な項目は以下のとおりである。

・回答者の基本情報
・回答者が所属する機関の基本情報
・職員が当該専攻への進学を希望した場合の意向
・当該専攻修了生の採用意向

調査方法

調査対象機関に対し、アンケート回答用の URL および QR コードを記載した案内を郵送で配布し、インターネット上のアンケートフォームにより回答を回収する方式で実施した。

調査実施機関

株式会社クロス・マーケティング

調査主体

株式会社高等教育総合研究所

回答者の属性

▶個人向けアンケート　※詳細は 11～14 ページの単純集計表を参照

本調査における 176 名の回答者の主な属性は以下のとおりである。

※構成比の高い順に（降順）に記載。

・所属機関

- 病院・診療所　：90.9%
- 行政（保健所・保健センター含む）　：6.8%
- その他　：2.3%

・年齢

- 40 代　：34.7%

- 50 代　：32.4%
- 30 代　：20.5%
- 60 歳以上　：6.8%
- 20 代　：5.7%

・最終学歴

- 大学卒　：52.8%
- 専門学校卒　：25.6%
- 大学院修士課程修了　：8.5%
- 大学院博士課程修了　：5.7%
- 短大卒　：4.0%
- その他　：3.4%

・職位

- 部門等の中間管理職　：43.2%
- 部門等の長　：21.0%
- 役職はないが中堅（入職 5 年以上）　：13.6%
- その他　：13.1%
- 医療機関等の執行幹部　：8.5%
- 病院長（組織の長）　：0.6%

▶機関向けアンケート　※詳細は 14～18 ページの単純集計表を参照

本調査における 45 名の回答者の主な属性は以下のとおりである。

※構成比の高い順に（降順）に記載。

・所属機関

- 病院・診療所　：91.1%
- 行政（保健所・保健センター含む）　：8.9%

・職位

- 病院長（組織の長）　：46.7%
- 医療機関等の執行幹部　：20.0%
- 部門長の長　：17.8%
- 部門等の中間管理職　：13.3%
- その他　：2.2%

本報告書に記載のデータに関する注意点

報告書内の表記について

・グラフの数値（%）は、小数第二位を四捨五入して表示している。

・本文の数値（%）は、小数第二位を四捨五入して表示している。

第Ⅱ章 調査結果

「個人向けアンケート（入学意向）」

►入学定員 10 名の約 4 倍を上回る 44 名（全体の 25.0%）が入学意向を示した。
►入学意向を示したものの内訳は、医療機関の職員が 41 名、行政機関の職員が 3 名であった。

Q８：神戸大学大学院医学系研究科医療デジタル経営管理学専攻（仮称）が開設された場合，自身が入学したいと思いますか。

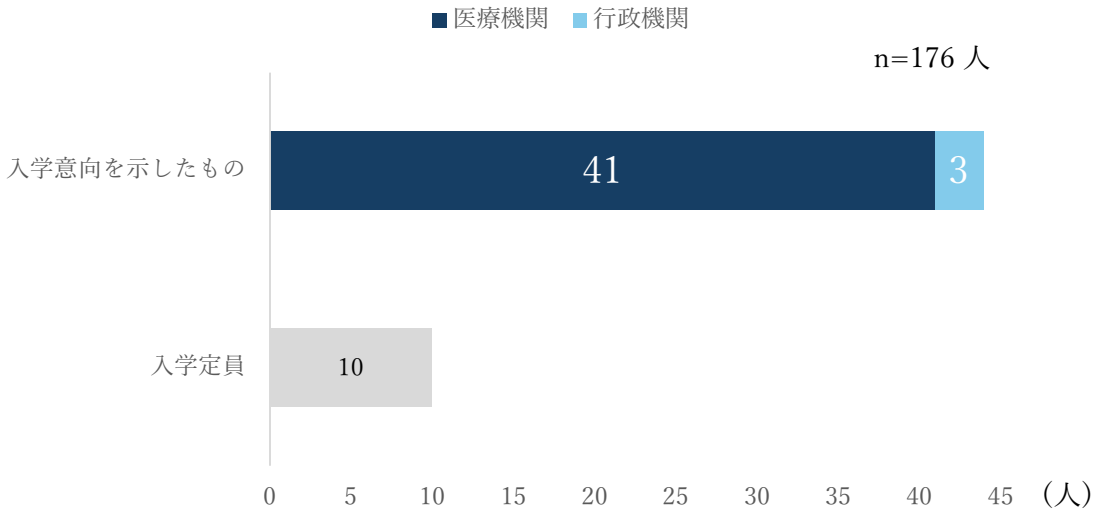


図 1　「医療デジタル経営管理学専攻（仮称）」への入学意向
【データ】Q８の集計結果を基に、筆者が加工・作成

►医療機関の職員 164 名のうち、41 名（25.0%）が入学意向を示した。
►行政機関の職員 12 名のうち、3 名（25.0%）が入学意向を示した。

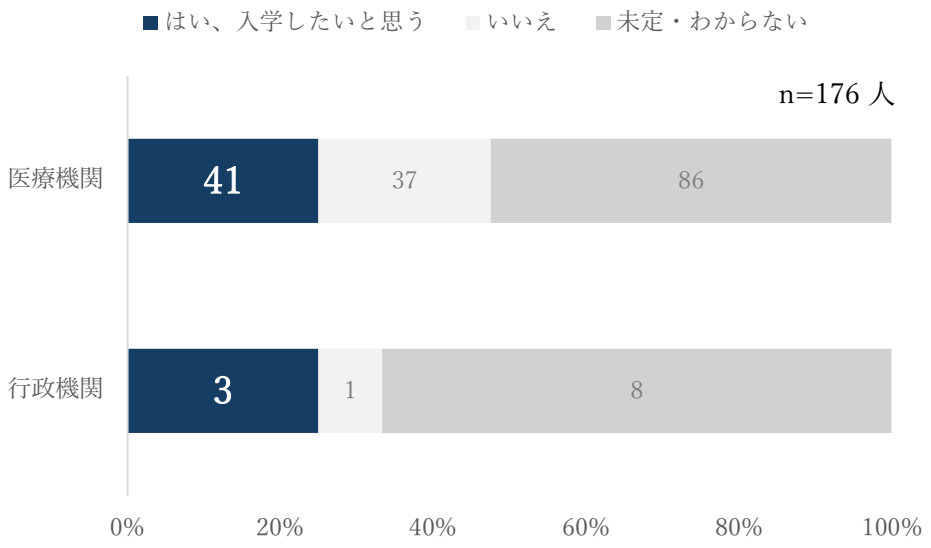


図 2　「医療デジタル経営管理学専攻（仮称）」への入学意向（医療機関・行政機関別）
【データ】Q8 の集計結果を基に、筆者が加工・作成

「機関向けアンケート（職員の進学機会に対する機関責任者の意向）」

▶機関の責任者計 45 名のうち、32 名（71.1%）が職員に進学機会を与えると回答。
▶職員の進学機会を否定する回答は確認されなかった。
▶進学機会を与える意向を示し、かつ研修支援制度を有する機関責任者が回答した職員の入学者数の合計は 41 名であった。

Q 6 :「貴院・貴施設の職員が神戸大学大学院医学系研究科医療デジタル経営管理学専攻（仮称）への進学を希望した場合，進学の機会を与えたいと思いますか。」

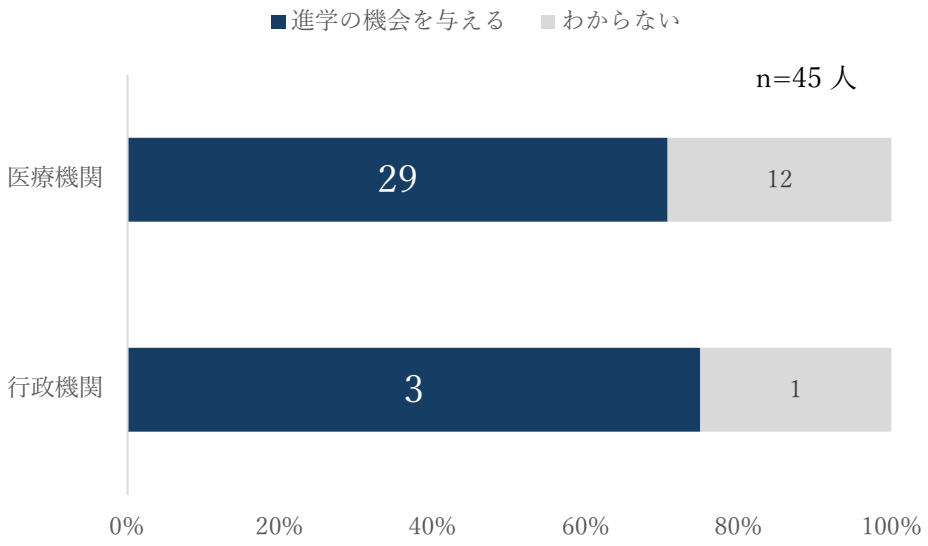


図 3　職員の進学機会に対する機関責任者の意向（医療機関・行政機関別）
【データ】Q 6 の集計結果を基に、筆者が加工・作成

上記の「進学の機会を与える」と回答した 32 名のうち、研修支援制度（研修費用の負担等）を有する機関の責任者は 23 名であり、その内訳を次項の図 4 に示す。

Q５：貴院・貴施設には職員の研修支援制度（研修費用の負担等）はありますか。



図 4　進学機会を与える意向を示し、かつ研修支援制度を有する機関の内訳（医療機関・行政機関別）　【データ】Q５およびQ６の集計結果を基に、筆者が加工・作成

以下は、図４に示された 23 名に対して、「職員を何人進学させたいか」と質問した結果のグラフである。

Q10：Q６で「はい、進学の機会を与えたいと思う」と回答された方にお伺いします。貴院・貴施設の職員を、何人入学させたいと思いますか。

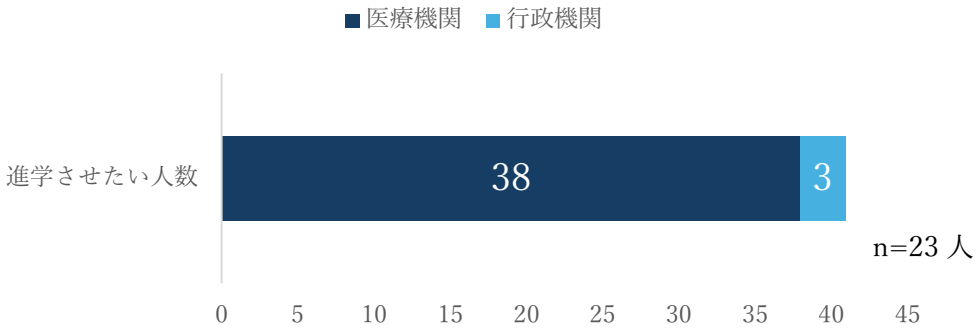


図 5　進学機会を与える意向を示し、かつ研修支援制度を有する機関が回答した入学者数（医療機関・行政機関別）【データ】Q５およびQ６、Q10 の集計結果を基に、筆者が加工・作成

第Ⅲ章 調査概要（単純集計表）

「個人向けアンケート」

Q1_あなたの現在の所属（勤務先）を選択してください。(単一回答)

n=176	回答数	構成比
病院・診療所	160	90.9%
行政（保健所・保健センター含む）	12	6.8%
その他(具体的にご記入ください)	4	2.3%

Q2_あなたの年齢について選択してください。(単一回答)

n=176	回答数	構成比
20 代	10	5.7%
30 代	36	20.5%
40 代	61	34.7%
50 代	57	32.4%
60 歳以上	12	6.8%

Q3_あなたの最終学歴を選択してください。(単一回答)

n=176	回答数	構成比
専門学校卒	45	25.6%
短大卒	7	4.0%
大学卒	93	52.8%
大学院修士課程修了	15	8.5%
大学院博士課程修了	10	5.7%
その他(具体的にご記入ください)	6	3.4%

Q4_あなたが保有する医療や経営に関する免許・資格について選択してください。(複数回答可)

n=176	回答数	構成比
医師	24	13.6%
看護師・保健師・助産師	24	13.6%
薬剤師	11	6.3%
臨床検査技師	6	3.4%
診療放射線技師	4	2.3%
理学療法士・作業療法士	15	8.5%
言語聴覚士	0	0.0%
臨床工学技士	6	3.4%
管理栄養士	7	4.0%
精神保健福祉士	3	1.7%
公認心理士	1	0.6%
社会福祉士	4	2.3%
介護福祉士	1	0.6%
診療情報管理士	13	7.4%
医療経営士	5	2.8%
中小企業診断士	3	1.7%
無し	50	28.4%
その他(医療や経営に関する免許・資格を具体的に入力してください)	12	6.8%

Q5_あなたの仕事上の立場を選択してください。複数当てはまる場合は，職位として最も高いものを選択し てください。(単一回答)

n=176	回答数	構成比
病院長（組織の長）	1	0.6%
医療機関等の執行幹部	15	8.5%
部門等の長	37	21.0%
部門等の中間管理職	76	43.2%
役職はないが中堅（入職 5 年以上）	24	13.6%
①～⑤以外の立場	23	13.1%

Q6_別紙の神戸大学大学院医学系研究科「医療デジタル経営管理学専攻(仮称)」の概要書に記載した内容のうち，あなたが魅力に感じる事項を全て選択してください。(複数回答可)

n=176	回答数	構成比
管理職に必要な基礎知識（医療倫理・医療安全・医療コミュニケーション）を学べること	101	57.4%
医療分野の課題解決に必要な専門知識（経営・人材管理・病院管理・情報管理・危機管理・医療政策・ 関連法規）を学べること	131	74.4%
実践的技術（データ収集・分析，全体最適化プランニング、プロジェクトマネジメント等）を学べる こと	114	64.8%
医療情報に関する専門知識，倫理的・法的課題，デジタル技術活用の国内外の最新動向を学べること	83	47.2%
大学院修了後に自律・自立的に最新知識への更新が持続可能となる情報管理能力を学べること	48	27.3%
対面授業のみならず，遠隔授業(リアルタイムオンライン・オンデマンド)を取り入れた授業を行うこ と	73	41.5%
厚生労働省教育訓練給付の指定を受けることも視野に入れていること	57	32.4%
無し	5	2.8%

Q８_神戸大学大学院医学系研究科医療デジタル経営管理学専攻(仮称)が開設された場合，自身が入学した いと思いますか。(単一回答)

n=176	回答数	構成比
はい，入学したいと思う	44	25.0%
いいえ	38	21.6%
未定・わからない	94	53.4%

Q9_Q８で「いいえ」「未定・わからない」を選択した理由を選択してください。

n=176	回答数	構成比
内容に興味・関心がないため	11	8.3%

n=176	回答数	構成比
勤務時間の調整や学習時間の確保など，授業に対応できる職場の理解・支援が得られるか不安なため	73	55.3%
家族の理解・協力を得られるか不安なため	36	27.3%
経済的な理由（授業料や受験料など）	42	31.8%
授業や研究の難易度についていけるか不安なため	42	31.8%
現在の職位・キャリアに満足しており，これ以上のキャリアアップを望んでいないため	17	12.9%
その他(具体的な理由を入力してください。)	16	12.1%

「機関向けアンケート」

Q1_あなたの現在の所属（勤務先）を選択してください。(単一回答)

n=45	回答数	構成比
病院・診療所	41	91.1%
行政（保健所・保健センター含む）	4	8.9%
その他(具体的にご記入ください)	0	0.0%

Q2_あなたが保有する医療や経営に関する免許・資格について選択してください。(複数回答可)

n=45	回答数	構成比
医師	24	53.3%
看護師・保健師・助産師	8	17.8%
薬剤師	2	4.4%
臨床検査技師	3	6.7%
診療放射線技師	3	6.7%
理学療法士・作業療法士	2	4.4%
言語聴覚士	1	2.2%
臨床工学技士	1	2.2%
管理栄養士	1	2.2%

n=45	回答数	構成比
精神保健福祉士	2	4.4%
公認心理士	1	2.2%
社会福祉士	3	6.7%
介護福祉士	1	2.2%
診療情報管理士	3	6.7%
医療経営士	0	0.0%
中小企業診断士	1	2.2%
無し	6	13.3%
その他(医療や経営に関する免許・資格を具体的に入力してください)	3	6.7%

Q3_あなたの仕事上の立場を選択してください。複数当てはまる場合は，職位として最も高いものを選択し てください。(単一回答)

n=45	回答数	構成比
病院長（組織の長）	21	46.7%
医療機関等の執行幹部	9	20.0%
部門等の長	8	17.8%
部門等の中間管理職	6	13.3%
役職はないが中堅（入職 5 年以上）	0	0.0%
①～⑤以外の立場	1	2.2%

Q4_貴院･貴施設の職員を神戸大学大学院医学系研究科医療デジタル経営管理学専攻(仮称)へ進学させたいと思いますか。(単一回答)

n=45	回答数	構成比
とても思う	11	24.4%
ある程度思う	29	64.4%
あまり思わない	5	11.1%
全く思わない	0	0.0%

Q5_貴院・貴施設には職員の研修支援制度（研修費用の負担等）はありますか。（単一回答）

n=45	回答数	構成比
ある	34	75.6%
現時点ではないが、今後検討予定	7	15.6%
ない	4	8.9%

Q6_貴院・貴施設の職員が神戸大学大学院医学系研究科医療デジタル経営管理学専攻（仮称）への進学を希望した場合，進学の機会を与えたいと思いますか。（単一回答）

n=45	回答数	構成比
はい、進学の機会を与えたいと思う	32	71.1%
いいえ	0	0.0%
わからない	13	28.9%

Q7_Q６で「いいえ」または「わからない」と回答された方にお伺いします。
そうお考えになった理由をすべて選択してください。（複数回答可）

n=13	回答数	構成比
カリキュラムの内容が、自院・自施設の業務との関連性が低いと感じるため	3	23.1%
職員が授業や研究の難易度についていけるか不安があるため	8	61.5%
職員が学業と業務を両立するのは難しいと考えるため	8	61.5%
特に明確な理由はないが、職員には学業よりも業務に集中してほしいため	2	15.4%
その他(具体的に入力してください)	3	23.1%

Q8_Q６で「いいえ」または「わからない」と回答された方にお伺いします。
神戸大学大学院医学系研究科医療デジタル経営管理学専攻（仮称）の修了生を，貴院・貴施設の職員として採用したいと思いますか。(単一回答)

n=13	回答数	構成比
はい、採用したいと思う	7	53.8%
いいえ	0	0.0%
わからない	6	46.2%

Q9_Q８で「はい、採用したいと思う」と回答された方にお伺いします。
採用する場合、単年度で採用する人数をご選択ください。(単一回答)

n=7	回答数	構成比
5人以上	0	0.0%
4人	0	0.0%
3人	0	0.0%
2人	2	28.6%
1人	5	71.4%

Q10_Q６で「はい、進学の機会を与えたいと思う」と回答された方にお伺いします。
貴院・貴施設の職員を、何人入学させたいと思いますか。(単一回答)

n=32	回答数	構成比
5人以上	3	9.4%
4人	0	0.0%
3人	1	3.1%
2人	7	21.9%
1人	21	65.6%

Q11_対面授業や遠隔授業(リアルタイムオンライン)での授業を行う場合，どのような授業日程であれば，貴院・貴施設の職員に受験や入学を勧められますか。(複数選択可)

n=45	回答数	構成比
土日祝日での授業開講	30	66.7%
平日の 17 時以降の授業開講	14	31.1%
平日の 18 時 30 分以降の授業開講	20	44.4%
入学したら，職場のサポート(特別休暇，自己研修制度等）を行うため，平日・土日祝日や時間帯については，あまり関係ない	5	11.1%
入学を勧める予定はない	2	4.4%
その他(貴院・貴施設の職員が受講しやすい日程を入力してください。)	4	8.9%

添付資料

概要説明リーフレット

1/2

神戸大学大学院 医学系研究科 医療デジタル経営管理学専攻(仮称)　設置構想中

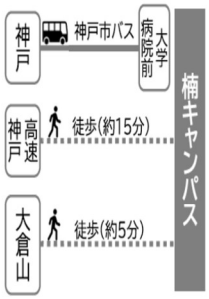
- 名　称 ● 医学系研究科医療デジタル経営管理学専攻(仮称)
- 開設時期 ● 令和9(2027)年4月
- 入学定員 ● 10名
- 取得学位 ● 医療経営学修士(専門職)
- 修業年限 ● 1年半
- 設置場所 ● 兵庫県神戸市中央区楠町7丁目5-1(楠キャンパス)

アクセス

JR神戸駅から神戸市バス110系統
もしくは112系統「神戸駅前」乗車
→「大学病院前」下車

神戸高速鉄道高速神戸駅から徒歩約15分

神戸市営地下鉄大倉山駅から徒歩約5分



設置概要

少子高齢化や働き方改革等の課題に直面している状況は医療においても例外ではなく、昨今は"医療の効率化や変革"といった医療分野における経営管理のあり方が、持続可能な医療を実現するための新たな社会的ニーズとなっています。そこで神戸大学では、医療における経営と情報の統合的利活用による戦略を策定し、**データに基づく医療機関の管理、医療経営、地域医療の変革を主導する人材を養成する**専門職大学院の設置を構想中です。

特色

本専攻の特色は、医療分野の課題解決に必要な専門知識(経営・人材管理・病院管理・情報管理・危機管理・医療政策・関連法規)と実践的技術(データ収集・分析、全体最適化プランニング、プロジェクトマネジメント等)の修得であり、大学院修了後に**自律・自立的に最新知識への更新が持続可能となる情報管理能力まで付与**します。

本専攻の教育は必要に応じて**リモート講義によるハイブリッド型での人材教育**を行い、**社会人学生が時間と場所に捉われず柔軟に学修機会が得られるよう配慮**します。また、専門職大学院ですので、設置後、厚生労働省教育訓練給付制度の専門実践教育訓練講座の指定を受けることも視野に入れています(支給要件を満たした場合、最大で受講費用の80%(年間上限64万円)が給付)。

養成する人材像

① 最新の情報技術やグローバルな医療政策・マネジメントの知見を基盤にし、医療情報に関する専門知識と高度な医療経営への専門性の修得により、創造的な課題解決能力と豊かな人間性に根ざした全体最適化能力を発揮し、組織を牽引する人材
② 医療分野への情報技術基盤の応用を推進し、データ駆動型の経営・業務の改善により医療経営の変革を牽引する人材
③ 医療データに基づき立案されている公共医療政策の理解の上で、地域の全体最適化能力を発揮し地域医療を牽引する人材

入学対象者

医療経営の変革、地域医療マネジメント、医療経営と情報戦略統合管理に関心を持ち、医療における実務経験又はその基礎知識を有する者
(医療機関の管理職及びその候補である、医師、メディカルスタッフ、事務職員等が主な対象となります)

学費等

検定料:30,000円 入学料:282,000円　授業料:年額 535,800円 (最短の1年半で修了した場合、授業料の総額は803,700円)

＊設置構想中のため、今後内容に変更が生じる可能性があります。

カリキュラム体系

科目区分	科目 ● 必修科目 ● 選択科目		身に付ける能力
医療人基礎科目	● 医療倫理 ● 医療コミュニケーション ● 医療プロフェッショナリズム ● 医療の質・安全管理		医療倫理を理解し、倫理的な意思決定を行うとともに、良好なコミュニケーションを図りながらリーダーシップを発揮して組織を管理・統制する能力
病院管理・医療マネジメント科目	● 医療管理総論 ● 医療人材管理 ● 公共医療政策 ● 医療関連法 ● 病院危機管理特論	● 保険医療・診療情報管理 ● 会計管理学基礎 ● 病院経営管理 ● 医療統計学基礎 ● 医療人材育成	医療における組織、人材管理、施設、設備、医療費、財務・診療報酬、法規、地域医療、病院管理(経営と医療の質の両立)、危機管理に関する専門知識
病院管理・医療マネジメント実践科目	● 医療マーケティング・ブランディング演習 ● 医療情報解析演習 ● 病院マネジメント管理特論 ● 医療経営・病院管理演習	● 地域医療・地域包括ケア特論 ● 医療事業継続計画策定演習 ● 災害危機管理医学 ● クリニカルパス特論	病院運営の実践的な能力として国内外の医療政策の最新動向も踏まえ、データ分析能力、マーケティング・広報・戦略策定能力、医療政策のマネジメント能力、課題設定能力、及び最適な解決策を創造的に構築し、医療経営と現場業務を改革するための方法を開発する実践的能力
医療情報専門科目	● 医療情報・経営戦略 ● 医療情報安全管理特論 ● 医療データ分析演習 ● 医療情報技術各論 ● 医療デジタル戦略概論	● 診療報酬・施設基準管理実践演習 ● 医療経営学実践演習 ● 医療情報活用実践演習 ● 課題解決型特別研究1	医療情報システムに関する理解と専門知識、倫理的・法的課題(個人情報保護・データ利活用等)、国内外の最新動向を踏まえた医療分野におけるデジタル技術利活用の能力
情報・経営統合戦略実践科目	● 診療報酬・施設基準管理実践演習 ● 医療経営学実践演習 ● 医療情報活用実践演習 ● 課題解決型特別研究2		医療分野におけるデジタル技術の国内外の最新動向に関する知識を体系的に理解し、医療データの分析やデジタル技術の活用を踏まえたデータ駆動による医療の効率化と質の向上の両立を実現する能力

＊設置構想中のため、今後内容に変更が生じる可能性があります。

アンケート調査票

１．「個人向けアンケート」

Q1. あなたの現在の所属（勤務先）を選択してください。 (必須)

- 病院・診療所
- 行政（保健所・保健センター含む）
- その他(具体的にご記入ください)

Q2. あなたの年齢について選択してください。

(必須)

- ○ 20代
- ○ 30代
- ○ 40代
- ○ 50代
- ○ 60歳以上

Q3. あなたの最終学歴を選択してください。 (必須)

- ○ 専門学校卒
- ○ 短大卒
- ○ 大学卒
- ○ 大学院修士課程修了
- ○ 大学院博士課程修了
- ○ その他(具体的にご記入ください)

Q4. あなたが保有する医療や経営に関する免許・資格について選択してください。（複数回答可） (必須)

- [ ] 医師
- [ ] 看護師・保健師・助産師
- [ ] 薬剤師
- [ ] 臨床検査技師
- [ ] 診療放射線技師
- [ ] 理学療法士・作業療法士
- [ ] 言語聴覚士
- [ ] 臨床工学技士
- [ ] 管理栄養士
- [ ] 精神保健福祉士

- [ ] 公認心理士
- [ ] 社会福祉士
- [ ] 介護福祉士
- [ ] 診療情報管理士
- [ ] 医療経営士
- [ ] 中小企業診断士
- [ ] 無し
- [ ] その他(医療や経営に関する免許・資格を具体的に入力してください)

Q5. あなたの仕事上の立場を選択してください。複数当てはまる場合は，職位として最も高いものを選択し てください。 (必須)

- 病院長（組織の長）
- 医療機関等の執行幹部
- 部門等の長
- 部門等の中間管理職
- 役職はないが中堅（入職 5 年以上）
- ①～⑤以外の立場

問6以降は、別紙の神戸大学大学院医学系研究科「医療デジタル経営管理学専攻（仮称）」の概要書をご覧の上ご回答ください。

つぎへ

Q6. 別紙の神戸大学大学院医学系研究科「医療デジタル経営管理学専攻(仮称)」の概要書に記載した内容のうち，あなたが魅力に感じる事項を全て選択してください。（複数 選択可）

(必須)

- [ ] 管理職に必要な基礎知識（医療倫理・医療安全・医療コミュニケーション）を学べること
- [ ] 医療分野の課題解決に必要な専門知識（経営・人材管理・病院管理・情報管理・危機管理・医療政策・ 関連法規）を学べること
- [ ] 実践的技術（データ収集・分析，全体最適化プランニング、プロジェクトマネジメント等）を学べる こと
- [ ] 医療情報に関する専門知識，倫理的・法的課題，デジタル技術活用の国内外の最新動向を学べること
- [ ] 大学院修了後に自律・自立的に最新知識への更新が持続可能となる情報管理能力を学べること
- [ ] 対面授業のみならず，遠隔授業(リアルタイムオンライン・オンデマンド)を取り入れた授業を行うこ と
- [ ] 厚生労働省教育訓練給付の指定を受けることも視野に入れていること
- [ ] 無し

Q7. 設問６に記載の内容以外で身に付けたい知識・能力があれば簡潔に記載してください。

Q8. 神戸大学大学院医学系研究科医療デジタル経営管理学専攻（仮称）が開設された場合，自身が入学した いと思いますか。 (必須)

- はい，入学したいと思う
- いいえ
- 未定・わからない

Q9. 設問８で「いいえ」「未定・わからない」を選択した理由を選択してください。

(必須)

- [ ] 内容に興味・関心がないため
- [ ] 勤務時間の調整や学習時間の確保など，授業に対応できる職場の理解・支援が得られるか不安なため
- [ ] 家族の理解・協力を得られるか不安なため
- [ ] 経済的な理由（授業料や受験料など）
- [ ] 授業や研究の難易度についていけるか不安なため
- [ ] 現在の職位・キャリアに満足しており，これ以上のキャリアアップを望んでいないため
- [ ] その他(具体的な理由を入力してください。)

2．「機関向けアンケート」

Q1. 貴院・貴施設の法人区分を選択してください。 (必須)

- ○ 病院・診療所
- ○ 行政(保健所・保健センター含む)
- ○ その他(具体的に入力してください)

Q2. あなたが保有する医療や経営に関する免許・資格について選択してください。(複数回答可) (必須)

- [ ] 医師
- [ ] 看護師・保健師・助産師
- [ ] 薬剤師
- [ ] 臨床検査技師
- [ ] 診療放射線技師
- [ ] 理学療法士・作業療法士
- [ ] 言語聴覚士
- [ ] 臨床工学技士
- [ ] 管理栄養士
- [ ] 精神保健福祉士
- [ ] 公認心理士

- [ ] 社会福祉士
- [ ] 介護福祉士
- [ ] 診療情報管理士
- [ ] 医療経営士
- [ ] 中小企業診断士
- [ ] 無し
- [ ] その他(具体的に入力してください)

Q3. あなたの仕事上の立場を選択してください。複数当てはまる場合は，職位として最も高いものを選択してください。 (必須)

- 病院長（組織の長）
- 医療機関等の執行幹部
- 部門等の長
- 部門等の中間管理職
- 役職はないが中堅（入職5年以上）
- ①～⑤以外の立場

問４以降は、別紙の神戸大学大学院医学系研究科「医療デジタル経営管理学専攻（仮称）」の概要書をご覧の上ご回答ください。

つぎへ

Q4. 貴院・貴施設の職員を神戸大学大学院医学系研究科医療デジタル経営管理学専攻（仮称）へ進学させたいと思いますか。 (必須)

- とても思う
- ある程度思う
- あまり思わない
- 全く思わない

Q5. 貴院・貴施設には職員の研修支援制度（研修費用の負担等）はありますか。 (必須)

- ある
- 現時点ではないが、今後検討予定
- ない

Q6. 貴院・貴施設の職員が神戸大学大学院医学系研究科医療デジタル経営管理学専攻（仮称）への進学を希望した場合，進学の機会を与えたいと思いますか。 (必須)

- はい、進学の機会を与えたいと思う
- いいえ
- わからない

Q7. 問６で「いいえ」または「わからない」と回答された方にお伺いします。

そうお考えになった理由をすべて選択してください。（複数回答可） (必須)

- [ ] カリキュラムの内容が、自院・自施設の業務との関連性が低いと感じるため
- [ ] 職員が授業や研究の難易度についていけるか不安があるため
- [ ] 職員が学業と業務を両立するのは難しいと考えるため
- [ ] 特に明確な理由はないが、職員には学業よりも業務に集中してほしいため
- [ ] その他(具体的に入力してください)

Q8. 問６で「いいえ」または「わからない」と回答された方にお伺いします。

神戸大学大学院医学系研究科医療デジタル経営管理学専攻（仮称）の修了生を，貴院・貴施設の職員として採用したいと思いますか。 (必須)

- はい、採用したいと思う
- いいえ
- わからない

Q9. 問８で「はい、採用したいと思う」と回答された方にお伺いします。

採用する場合、単年度で採用する人数をご選択ください。 (必須)

- ５人以上
- ４人
- ３人
- ２人
- １人

Q10. 問６で「はい、進学の機会を与えたいと思う」と回答された方にお伺いします。

貴院・貴施設の職員を、何人入学させたいと思いますか。 (必須)

- ５人以上
- ４人
- ３人
- ２人
- １人

Q11. 対面授業や遠隔授業(リアルタイムオンライン)での授業を行う場合，どのような授業日程であれば，貴院・貴施設の職員に受験や入学を勧められますか。(複数選択可) (必須)

- [ ] 土日祝日での授業開講
- [ ] 平日の17時以降の授業開講
- [ ] 平日の18時30分以降の授業開講
- [ ] 入学したら，職場のサポート(特別休暇，自己研修制度 等）を行うため，平日・土日祝日や時間帯については，あまり関係ない
- [ ] 入学を勧める予定はない
- [ ] その他(貴院・貴施設の職員が受講しやすい日程を入力してください。)

神戸大学大学院

医学系研究科　医療経営管理学専攻（仮称）

専門職学位課程

令和８年６月医療系専門職大学院設置に係るアンケート

調査結果報告書（追加調査）

令和８年６月 11 日

神　戸　大　学

目次

「医療機関向けアンケート」（追加調査） 1
調査結果サマリー 1
調査概要 1
調査結果 2
調査結果（グラフ） 3
「個人向けアンケート」（追加調査） 5
調査結果サマリー 5
調査概要 5
調査結果 6
調査結果（グラフ） 8
（参考）概要説明リーフレット 11
アンケート調査票（医療機関向け） 13
アンケート調査票（個人向け） 15

＜医療機関向けアンケート＞　追加調査

調査結果サマリー

追加アンケートの結果，医療機関向けアンケートでは，回答のあった 21 の医療機関の長から，職員の進学について意欲的な回答が得られ，「継続的に，毎年，１名を進学させたい」と回答した者が５機関(23.8%)，「継続的に，毎年，複数名を進学させたい」と回答した者が９機関(42.9%)，「継続的に，３年から５年ごとに，１名を進学させたい」と回答した者が５機関(23.8%)，「継続的に，３年から５年ごとに，複数名を進学させたい」と回答した者が２機関(9.5%)であった。毎年・１名が５機関，毎年・複数名が９機関あることから，複数名を仮に２名として考えた場合，５機関×１名＋９機関×２名＝23 名について，毎年志願者が見込まれる。これに加え，３年から５年ごとの進学を考えている機関も７機関あることから，中長期的に継続して毎年 23 名程度の志願者が確保される見通しがあると言える。

調査概要

調査目的

本調査は，中長期的な学生確保の見通しについて補足するためのアンケートである。

既存のアンケート調査では，入学を希望する年度に関して，機関向けアンケート及び個人向けアンケートのいずれにおいても設問として設定していなかった。そのため，入学したいと回答した者の入学希望年度は不明瞭であった。そこで，審査意見を受け，医療機関の長及び大学院生（博士課程前期課程）に入学に関する追加アンケートを実施した。

調査対象

医療機関の長　21 名（21 機関）

（兵庫県及び大阪府の病院長・行政の医療保健担当部署の長 ）

調査期間

令和８年６月５日～令和８年６月 10 日

回収状況

有効回答数　21 件（21 機

関）有効回収率　100%

調査項目

質問項目は全４問とし，主な項目は以下のとおりである。

・職員を進学させたいか
・進学の頻度
・進学させたい職種

調査方法
調査対象機関の長に対し，電子メールにて回答用の URL を配付し，インターネット上のアンケートフォームにより回答を回収する方式を実施した。

調査実施機関・主体
国立大学法人神戸大学

回答者の属性
・所属機関
・所属機関（21 機関）
- 病院：85.7%（18 機関）
- 行政：14.3%（3 機関）

調査結果

職員を進学させたいか
①とても思う。 ：81%（19 機関）
②ある程度思う。 ：19%（2 機関）

進学の頻度
①継続的に，毎年，1 名を進学させたい。 ：23.8%（5 機関）
②継続的に，毎年，複数名を進学させたい。 ：42.9%（9 機関）
③継続的に、隔年で、1 名を進学させたい。 ： 0.0%
④継続的に、隔年で、複数名を進学させたい。 ： 0.0%
⑤継続的に，3 年から 5 年ごとに，1 名を進学させたい。 ：23.8%（5 機関）
⑥継続的に、3 年から 5 年ごとに、複数名を進学させたい。 ： 9.5%（2 機関）

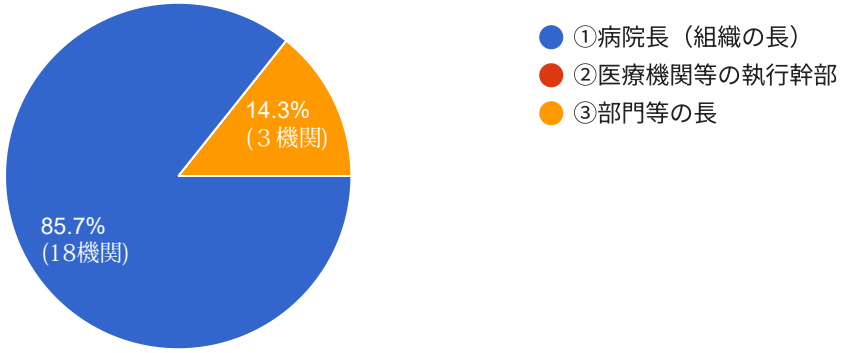
進学させたい職種
①医師 ：95.2%（20 機関）
②医師以外の医療職：90.5%（19 機関）
③事務職 ：85.7%（18 機関）

【機関向け】 令和8年６月医療系専門職大学院設置に係るアンケート

21 件の回答

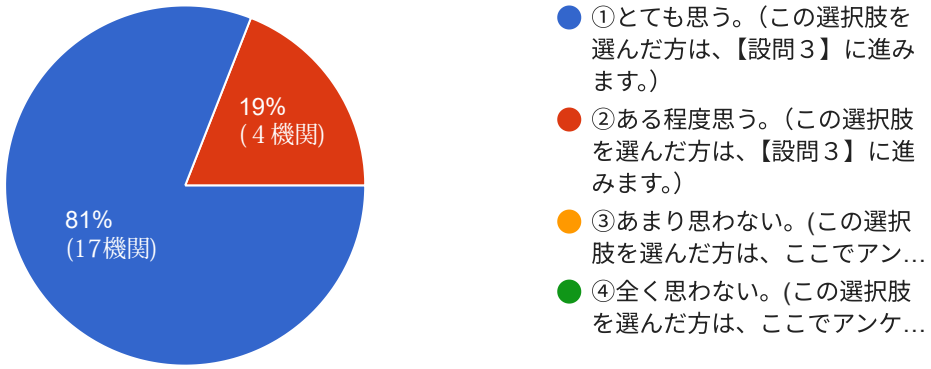
【設問１】 ご記入いただいた方の仕事上の立場を選択してください。複数当てはまる場合は，職位として最も高いものを選択してください。

21 件の回答



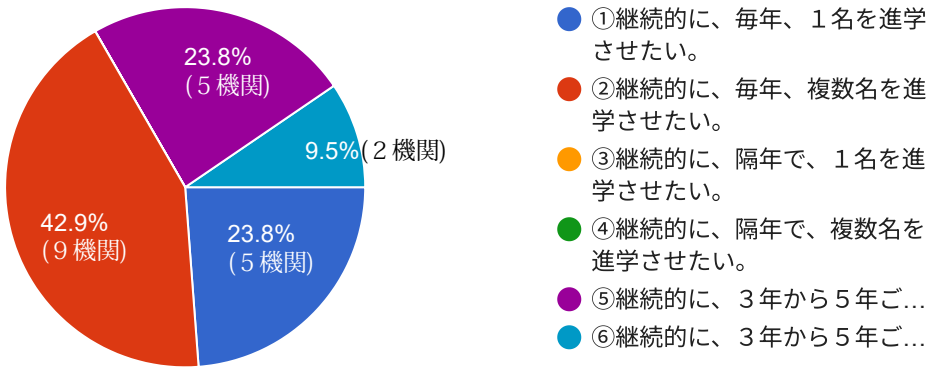
【設問２】貴院・貴施設の職員を神戸大学大学院医学系研究科医療デジタル経営管理学専攻（仮称）へ進学させたいと思いますか。

21 件の回答



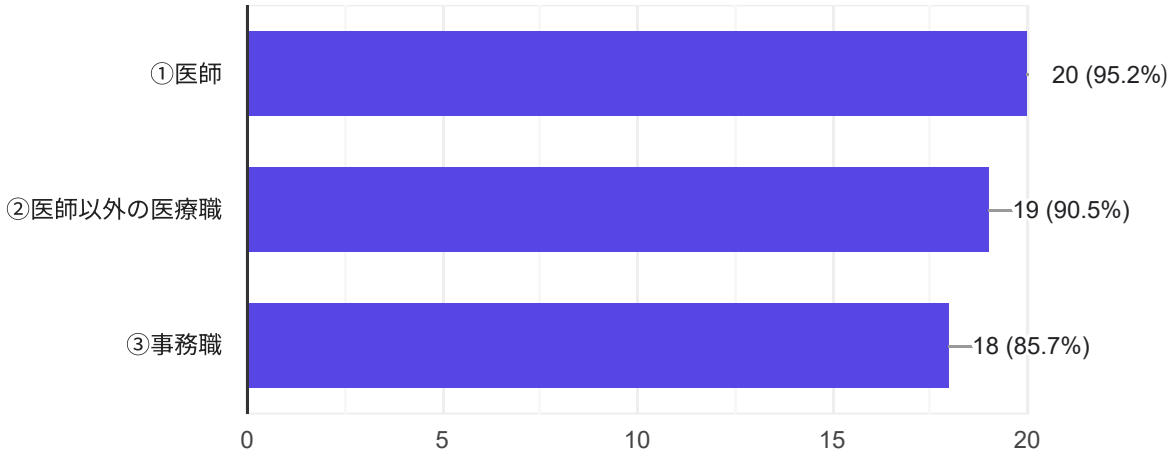
【設問３】上記【設問２】で①とても思う。または②ある程度思う。とお答えの方に、中長期的な展望についてお伺いします。
貴院・貴施設の職員をどのくらいの頻度で進学させたいと思いますか。

21 件の回答



【設問４】上記【設問２】で ①とても思う。または②ある程度思う。とお答えの方にお伺いします。
進学させたい職種はどれですか。【複数選択可】

21 件の回答



このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。 - フォームのオーナーに問い合わせる - 利用規約 - プライバシー ポリシー

このフォームが不審だと思われる場合 報告

Google フォーム

＜個人向けアンケート＞　追加調査

調査結果サマリー

追加アンケートの結果，個人向けアンケートでは，２名から入学に対する意欲的な回答があり，23 名から本専攻に将来的には入学を検討したいという回答があった。このように，現在医療系の大学院に所属する学生の間でも，将来的な進路として本専攻への興味・関心があることが伺え，中長期的な学生の確保が期待できると言える。

調査概要

調査目的

「医療機関向けアンケート」と同様に，本調査は，中長期的な学生確保の見通しについて補足するためのアンケートである。

調査対象

神戸大学大学院医学系研究科博士課程前期課程の学生 107 名
神戸大学大学院保健学研究科博士課程前期課程の学生 86 名　　計 193 名

調査期間

令和８年６月５日～令和８年６月 10 日

回収状況

有効回答数　48 件（48
名）有効回収率　24.9%

調査項目

質問項目は全８問とし，主な項目は以下のとおりである。

・年齢
・保有する医療や経営に関する免許・資格
・将来のキャリアをイメージしての入学の意思

調査方法

調査対象者に対し，電子メールにて回答用の URL を配付し，インターネット上のアンケートフォームにより回答を回収する方式を実施した。

調査実施機関・主体

国立大学法人神戸大学

回答者の属性

・所属機関

- 神戸大学大学院医学系研究科博士課程前期課程の学生及び神戸大学大学院保健学研究科博士課程前期課程の学生：24.9%

・年齢

- 20 代　　：62.5%(30 名)
- 30 代　　：20.8%(10 名)
- 40 代　　：14.6%(7 名)
- 50 代　　： 0.0%
- 60 代以上： 2.1%(1 名)

・最終学歴

- 専門学校卒　　： 4.2%(2 名)
- 短大卒　　： 0.0%
- 大学卒　　：77.1%(37 名)
- 大学院修士課程修了：18.8%(9 名)
- 大学院博士課程修了： 0.0%
- その他　　： 0.0%

調査結果

保有する医療や経営に関する免許・資格（複数回答あり）

①医師　　： 0.0%
②看護師・保健師・助産師：29.2%(14 名)
③薬剤師　　： 0.0%
④臨床検査技師 ：16.7%(8 名)
⑤診療放射線技師 ： 2.1%(1 名)
⑥理学療法士・作業療法士：33.3%(16 名)
⑦言語聴覚士　　： 0.0%
⑧臨床工学技士 ： 2.1%(1 名)
⑨管理栄養士　　： 2.1%(1 名)
⑩精神保健福祉士 ： 0.0%

⑪公認心理士　　：　0.0%
⑫社会福祉士　　：　0.0%
⑬介護福祉士　　：　0.0%
⑭診療情報管理士：0.0%
⑮医療経営士　　：　2.1%(１名)
⑯中小企業診断士：0.0%
⑰その他　　：　2.1%(１名)
⑱無し　　：14.6%(７名)

⑰その他と回答した者の保有する医療や経営に関する免許・資格

栄養士　　：１名

将来のキャリアをイメージしての入学の意思

①はい，入学したいと思う：4.2%(２名)
②今は具体的に考えていないが、５年後や 10 年後には入学について検討したいと思う：47.9%(23 名)
③いいえ　　：47.9%(23 名)

①はい，入学したいと思うと回答した者の入学希望時期

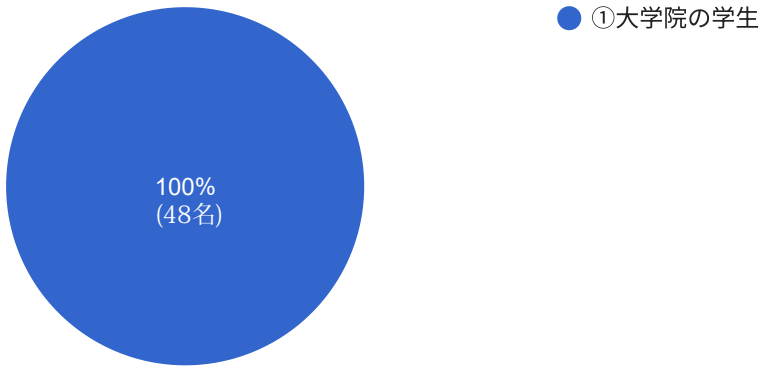
①開設初年度（令和９年度・2027 年度)：50.0%(１名)
②２年から５年：0.0%
③６年から 10 年：50.0%(１名)
④10 年より長くキャリアを積んでから：0.0%

【個人向け】 令和8年６月医療系専門職大学院設置に係るアンケート

48 件の回答

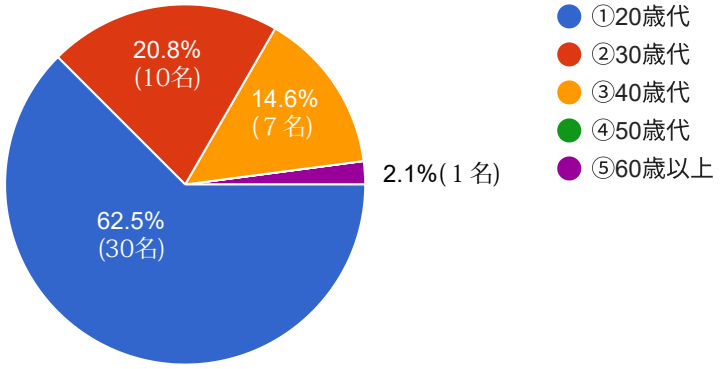
【設問１】 あなたの現在の所属を選択してください。

48 件の回答



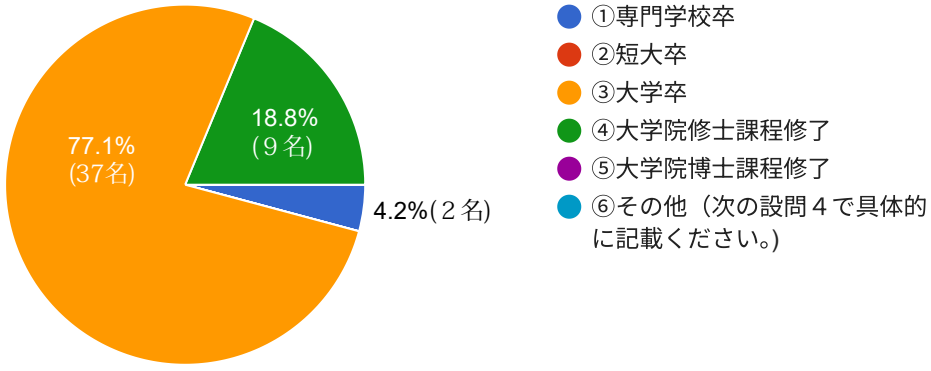
【設問２】あなたの年齢について選択してください。

48 件の回答



【設問３】 あなたの最終学歴を選択してください。

48 件の回答



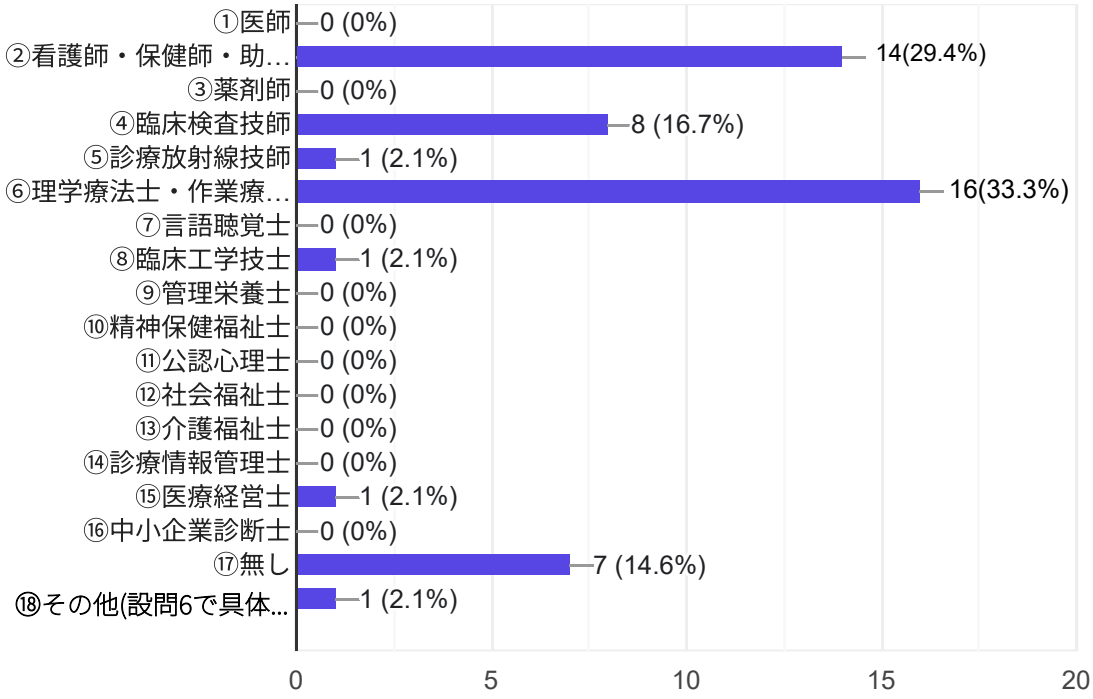
【設問４】上記【設問３】で⑤その他とお答えした方にお伺いします。最終学歴をお書きください。

0 件の回答

この質問にはまだ回答がありません。

【設問５】 あなたが保有する医療や経営に関する免許・資格について選択してください。【複数選択可】

48 件の回答



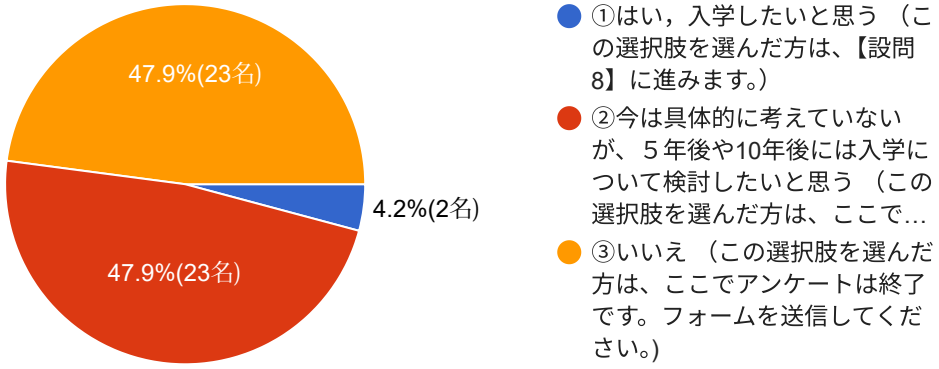
【設問６】上記【設問５】で⑱その他とお答えした方にお伺いします。免許・資格をお書きください。

1 件の回答

栄養士

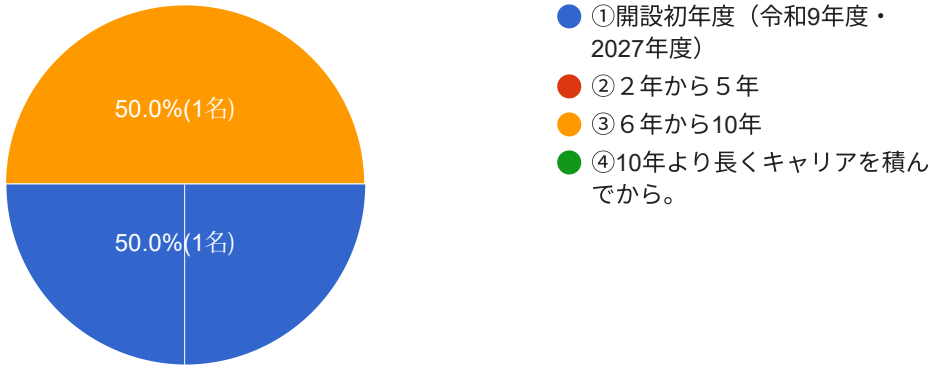
【設問７】 将来のキャリアとして，管理職となり，病院の運営・経営や地域医療行政に携わることをイメージして，この専門職大学院に入学したいと思いますか。

48 件の回答



【設問8】上記【設問7】で①はい，入学したいと思う。とお答えした方にお伺いします。 何年後に入学したいと思いますか。

2 件の回答



このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。 - フォームのオーナーに問い合わせる - 利用規約 - プライバシー ポリシー

このフォームが不審だと思われる場合 報告

Google フォーム

神戸大学大学院 医学系研究科 医療デジタル経営管理学専攻（仮称）

設置認可申請中

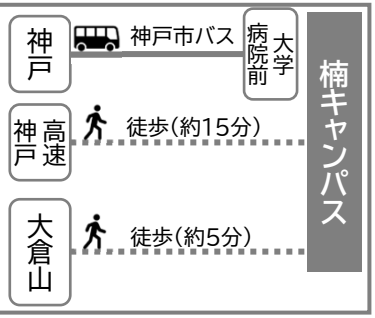
- 名　　称 ● 医学系研究科医療デジタル経営管理学専攻（仮称）
- 開設時期 ● 令和9（2027）年4月
- 入学定員 ● 10名
- 取得学位 ● 医療経営学修士（専門職）
- 修業年限 ● 1年半
- 設置場所 ● 兵庫県神戸市中央区楠町7丁目5-1（楠キャンパス）

アクセス

JR神戸駅から神戸市バス110系統
もしくは112系統「神戸駅前」乗車
→「大学病院前」下車

神戸高速鉄道高速神戸駅から徒歩約15分

神戸市営地下鉄大倉山駅から徒歩約5分



設置概要

「専門職大学院」は、一般的な大学院とは異なる専門職学位課程という課程になります。この専門職大学院では、理論と実務を架橋した教育を行うことを基本としつつ、高度で専門的な知識・能力を備えた高度専門職業人を養成することが期待されています。神戸大学では、昨今急速に病院や医療保健行政の現場で求められるようになった**データに基づく医療機関の管理、医療経営、地域医療の変革を主導する人材を養成することを目指し、**文部科学省に専門職大学院の設置認可を申請中です。

現在、大学院生として学ぶ方や医療・行政の現場で働く若手の方が、将来的に管理職になるときに役立つ学びとなります。また、修了すると、「医療経営学修士（専門職）」という修士号が授与されます（仮称）。

特色

本専攻の特色は、医療分野の課題解決に必要な専門知識（経営・人材管理・病院管理・情報管理・危機管理・医療政策・関連法規）と実践的技術（データ収集・分析、全体最適化プランニング、プロジェクトマネジメント等）の修得であり、大学院修了後に**自律・自立的に最新知識への更新が持続可能となる情報管理能力まで付与**します。

本専攻の教育は必要に応じて**リモート講義によるハイブリッド型での人材教育**を行い、**社会人学生が時間と場所に捉われず柔軟に学修機会が得られるよう配慮**します。また、専門職大学院ですので、**早ければ設置2年後以降に、厚生労働省教育訓練給付制度の専門実践教育訓練講座の指定を受けることも視野に入れています（支給要件を満たした場合、最大で受講費用の80%（年間上限64万円）が給付）**。

養成する人材像

① 最新の情報技術やグローバルな医療政策・マネジメントの知見を基盤にし、医療情報に関する専門知識と高度な医療経営への専門性の修得により、創造的な課題解決能力と豊かな人間性に根ざした全体最適化能力を発揮し、組織を牽引する人材
② 医療分野への情報技術基盤の応用を推進し、データ駆動型の経営・業務の改善により医療経営の変革を牽引する人材
③ 医療データに基づき立案されている公共医療政策の理解の上で、地域の全体最適化能力を発揮し地域医療を牽引する人材

入学対象者

医療経営の変革、地域医療マネジメント、医療経営と情報戦略統合管理に関心を持ち、医療における実務経験又はその基礎知識を有する者
（医療機関の管理職及びその候補である、医師、メディカルスタッフ、事務職員。また、将来、病院経営や医療保健行政の管理職を目指す大学院生）

学費等

検定料：30,000円　入学料：282,000円　授業料：年額 535,800円（最短の1年半で修了した場合、授業料の総額は803,700円）

＊設置認可申請中のため、今後内容に変更が生じる可能性があります。

カリキュラム体系

科目区分	科目　● 必修科目　● 選択科目		身に付ける能力
医療人基礎科目	● 医療経営学基礎 ● 医学・医療基礎 ● 医療倫理 ● 医療コミュニケーション ● 医療プロフェッショナリズム ● 医療の質・安全管理		医療倫理を理解し、倫理的な意思決定を行うとともに、良好なコミュニケーションを図りながらリーダーシップを発揮して組織を管理・統制する能力
病院管理・医療マネジメント科目	● 医療管理総論 ● 医療人材管理 ● 公共医療政策 ● 医療関連法 ● 病院危機管理特論	● 保険医療・診療情報管理 ● 会計管理学基礎 ● 病院経営管理 ● 医療統計学基礎 ● 医療人材育成	医療における組織、人材管理、施設、設備、医療費、財務・診療報酬、法規、地域医療、病院管理（経営と医療の質の両立）、危機管理に関する専門知識
病院管理・医療マネジメント実践科目	● 医療マーケティング・ブランディング演習 ● 医療情報解析演習 ● 病院マネジメント管理特論 ● 医療経営・病院管理演習	● 地域医療・地域包括ケア特論 ● 医療事業継続計画策定演習 ● 災害危機管理医学 ● クリニカルパス特論	病院運営の実践的な能力として国内外の医療政策の最新動向も踏まえ、データ分析能力、マーケティング・広報・戦略策定能力、医療政策のマネジメント能力、課題設定能力、及び最適な解決策を創造的に構築し、医療経営と現場業務を改革するための方法を開発する実践的能力
医療情報専門科目	● 医療情報・経営戦略 ● 医療情報安全管理特論 ● 医療データ分析演習 ● 医療情報技術各論 ● 医療デジタル戦略概論	● 診療報酬・施設基準管理実践演習 ● 医療経営学実践演習 ● 医療情報活用実践演習 ● 課題解決型特別研究1	医療情報システムに関する理解と専門知識、倫理的・法的課題（個人情報保護・データ利活用等）、国内外の最新動向を踏まえた医療分野におけるデジタル技術利活用の能力
情報・経営統合戦略実践科目	● 診療報酬・施設基準管理実践演習 ● 医療経営学実践演習 ● 医療情報活用実践演習 ● 課題解決型特別研究2		医療分野におけるデジタル技術の国内外の最新動向に関する知識を体系的に理解し、医療データの分析やデジタル技術の活用を踏まえたデータ駆動による医療の効率化と質の向上の両立を実現する能力

＊設置認可申請中のため、今後内容に変更が生じる可能性があります。

【機関向け】 令和8年６月医療系専門職大学院設置に係るアンケート

神戸大学大学院医学系研究科では、令和９年４月に専門職大学院として「医療デジタル経営管理学専攻(仮称)」を新たに設置することを、現在、文部科学省に設置認可申請中です。
ついては、設置概要について、「専攻の設置概要等」を確認の上、アンケートに回答いただきますようお願いいたします。

Google にログインすると作業内容を保存できます。詳細

* 必須の質問です

【設問１】 ご記入いただいた方の仕事上の立場を選択してください。複数当てはまる場合は，職位として最も高いものを選択してください。 *

- ①病院長（組織の長）
- ②医療機関等の執行幹部
- ③部門等の長

【設問２】貴院・貴施設の職員を神戸大学大学院医学系研究科医療デジタル経営管理学専攻（仮称）へ進学させたいと思いますか。 *

- ①とても思う。（この選択肢を選んだ方は、【設問３】に進みます。）
- ②ある程度思う。（この選択肢を選んだ方は、【設問３】に進みます。）
- ③あまり思わない。(この選択肢を選んだ方は、ここでアンケートは終了です。フォームを送信してください。)
- ④全く思わない。(この選択肢を選んだ方は、ここでアンケートは終了です。フォームを送信してください。)

【設問３】上記【設問２】で①とても思う。または②ある程度思う。とお答えの方に、中長期的な展望についてお伺いします。
貴院・貴施設の職員をどのくらいの頻度で進学させたいと思いますか。

- ○ ①継続的に、毎年、１名を進学させたい。
- ○ ②継続的に、毎年、複数名を進学させたい。
- ○ ③継続的に、隔年で、１名を進学させたい。
- ○ ④継続的に、隔年で、複数名を進学させたい。
- ○ ⑤継続的に、３年から５年ごとに、１名を進学させたい。
- ○ ⑥継続的に、３年から５年ごとに、複数名を進学させたい。

【設問４】上記【設問２】で ①とても思う。または②ある程度思う。とお答えの方にお伺いします。
進学させたい職種はどれですか。【複数選択可】

- ☐ ①医師
- ☐ ②医師以外の医療職
- ☐ ③事務職

送信　1/1 ページ　フォームをクリア

このフォームは 神戸大学 内部で作成されました。
このフォームが不審だと思われる場合 報告

Google フォーム

【個人向け】 令和8年６月医療系専門職大学院設置に係るアンケート

神戸大学大学院医学系研究科では、令和９年４月に専門職大学院として「医療デジタル経営管理学専攻(仮称)」を新たに設置することを、現在、文部科学省に設置認可申請中です。
ついては、設置概要について、「専攻の設置概要等」を確認の上、アンケートに回答いただきますようお願いいたします。

Google にログインすると作業内容を保存できます。詳細

* 必須の質問です

【設問１】 あなたの現在の所属を選択してください。 *

- ①大学院の学生

【設問２】あなたの年齢について選択してください。 *

- ①20歳代
- ②30歳代
- ③40歳代
- ④50歳代
- ⑤60歳以上

【設問３】 あなたの最終学歴を選択してください。 *

- ①専門学校卒
- ②短大卒
- ③大学卒
- ④大学院修士課程修了
- ⑤大学院博士課程修了
- ⑥その他（次の設問４で具体的に記載ください。)

【設問４】上記【設問３】で⑤その他とお答えした方にお伺いします。最終学歴をお書きください。

回答を入力

【設問５】 あなたが保有する医療や経営に関する免許・資格について選択してください。【複数選択可】 *

- [ ] ①医師
- [ ] ②看護師・保健師・助産師
- [ ] ③薬剤師
- [ ] ④臨床検査技師
- [ ] ⑤診療放射線技師
- [ ] ⑥理学療法士・作業療法士
- [ ] ⑦言語聴覚士
- [ ] ⑧臨床工学技士
- [ ] ⑨管理栄養士
- [ ] ⑩精神保健福祉士
- [ ] ⑪公認心理士
- [ ] ⑫社会福祉士
- [ ] ⑬介護福祉士
- [ ] ⑭診療情報管理士
- [ ] ⑮医療経営士
- [ ] ⑯中小企業診断士
- [ ] ⑰無し
- [ ] ⑱その他(設問７で具体的に記載ください。)

【設問６】上記【設問５】で⑱その他とお答えした方にお伺いします。免許・資格をお書きください。

回答を入力

【設問７】 将来のキャリアとして，管理職となり，病院の運営・経営や地域医療行政に携わることをイメージして，この専門職大学院に入学したいと思いますか。 *

- ①はい，入学したいと思う （この選択肢を選んだ方は、【設問8】に進みます。）
- ②今は具体的に考えていないが、５年後や10年後には入学について検討したいと思う （この選択肢を選んだ方は、ここでアンケートは終了です。フォームを送信してください。）
- ③いいえ （この選択肢を選んだ方は、ここでアンケートは終了です。フォームを送信してください。）

【設問8】上記【設問7】で①はい，入学したいと思う。とお答えした方にお伺いします。 何年後に入学したいと思いますか。

- ①開設初年度（令和9年度・2027年度）
- ②２年から５年
- ③６年から10年
- ④10年より長くキャリアを積んでから。

送信

1/1 ページ

フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームは 神戸大学 内部で作成されました。
このフォームが不審だと思われる場合 報告

Google フォーム